

(第三種郵便物認可)

日本美術品 運送 大エジプト博物館 開館に技術協力
移送・梱包などを指導



ポイントはこの通り!



こうですか?



よしよし、うまいぞ!

研修員たち
に今回の研修
の感想を聞く
と、「いろい
ろと新しい梱
包方法を学ぶ
ことができ、
大変参考にな
る」「エジプ
トでは梱包材
料が質・量と

エジプトといえばスフィンクス、ピラミッドをはじめめずばらしい文化遺産の宝庫ともいえるが、そのエジプトのギザに「大エジプト博物館」が二〇一一年に開館する。これに先立って今年、付属施設の保存修復センターが建設され、わが国はこれらに有償資金協力

（円借款）を行っている。その一環として実施されている「移送・梱包ワークショップ」で、現地の保存修復の専門家七人を招いてさまざまな文化財の保存修復や管理の技術移転を行うこととなった。エジプト側では以前から「収蔵品を安全に移送するための技術指

導」を強く要望していた。そこで今回の来日では、JICAと日本通運（本社）東京が提携し、そうした要請に応える研修を実施することになった。

日本通運ではこれまで、ツタンカーメン、ミロのヴェイナス、モナ・リザといった世界的文化財を運び、

研修は「収蔵品の移送・梱包」と「収蔵品管理システム」の主要テーマで構成され、講義と実習形式で進められるが、東京国立博物館、東京大学総合研究博物館、日本通運の収蔵庫見学も行い、各々の特性を持った収蔵・管理方法を学ぶ機会を設けた。また、東京都美術館で行われていた「

世界一ともいえる美術品輸送の技術を誇っているが、そのノウハウを活用して、研修プログラムが作成された。

実習は、工芸品、絵画、埴輪、仏像について、日本の資材や道具を用いて日本の技法で各々行い、エジプトに戻ってから実態に沿ったアレンジをして活用してもらうことになるという。

記者は埴輪の梱包の実習作業を見学したが、研修員たちは日通美術品輸送の専門家の指導のもと、熱心に取り組み、飲み込みも早く、大変上手に梱包を実施して

もに不足している。これからは日本の新しい材料を生かしていければ良いと思

う」などと、積極的に意見を述べていた。

九月二十七日から十月十日までの「文化財移送・梱包研修」の成果は、二〇一一年の大エジプト博物館開館に向けて、十万点に及ぶ収蔵品の移送に大いに力を発揮することだろう。

研修員たち
に今回の研修
の感想を聞く
と、「いろい
ろと新しい梱
包方法を学ぶ
ことができ、
大変参考にな
る」「エジプ
トでは梱包材
料が質・量と